

～Thank you～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 8. 28
No.9 文責 荒木秀

「今」を「生きる」ということ①

「将来の夢は何ですか？」「どんな仕事につきたいですか？」みなさんも子どもの頃、幾度となく問いかけられた質問ではないでしょうか？そして、同じようにみなさんも、今子どもたちに聞いていませんか？なぜ、聞いてしまうのでしょうか？

私も、息子たちに事あるごとに聞いてきました。それは、将来像が明確ならば、それに向かって、多少の困難も乗り越えることができるのではないかと考えているからです。しかし、息子たちの返事は、「ううん…。」答えに詰まってしまいます。将来像さえはっきりしていれば、もう少し勉強にも身が入ると思うのですが…。

私の理想は、サンドウィッチマンと芦田愛菜ちゃんがMCを務める『博士ちゃん』という番組に出てくる子どもたちです。恐竜やピラミッド、中には家電や昭和歌謡まで、興味をもったことに、とことんのめり込む博士ちゃんたちが登場します。その知識は大人顔負けで、中には講演会の講師を務めたり、本を出版したりしてしまう博士ちゃんもいます。本当に勉強しているんですね。

『TANKYU (27号)』で、伊藤先生も書いてくださっていましたが、好きなことは頑張れるんですよね。いや、博士ちゃんたちにしてみたら、頑張っているという意識すらないのかもしれない。だって、好きなことをやっているだけなのだから。博士ちゃんのその後の様子を追跡するという回がありましたが、仏像好きの博士ちゃんは、僧侶を目指し佛教大学で学んでいました。

ということで、前置きが長くなってしまいましたが、我が子も含めて子どもたちが、どうやったら夢中になれるものと出あうことができるか。そんな思いから、夏休み中に読んだ本を2冊、次号で紹介します。

奥村裕一・あんびるえつこ(2023)『99%の小学生は気づいていない！？ やりたい！のを見つけ方』,Z会

吉田和夫(2015)『なぜ、あの学校は活力に満ちているのか？プロジェクト型経営のススメ』,東洋館出版社

